



FUJISOFT

2016年8月24日  
富士ソフト株式会社

## 「第28回全日本ロボット相撲 東北大会」開催のお知らせ

～全国大会出場を目指す約100台のロボット力士が秋田県立横手清陵学院高等学校に集結！～



富士ソフト株式会社(本社:神奈川県横浜市、代表取締役 社長執行役員:坂下 智保)は、10月23日(日)に「第28回全日本ロボット相撲 東北大会」を秋田県立横手清陵学院高等学校にて開催いたしますのでお知らせします。

ロボット相撲は、参加者が自作したロボットを力士に見立て、技術とアイデアで相手を土俵から押し出す競技です。「全日本ロボット相撲大会」は、ロボット作りを通して『ものづくり』の楽しさを知ってもらう場を提供することを目的に1990年より開催し、今回で28回目を迎える国内最大規模のロボット競技大会です。

全国9カ所で行われる地区大会に参戦する約1,300台の中から勝ち進んだ128台が全国大会に進出し、全日本の部の優勝者には文部科学大臣杯<sup>\*1</sup>と文部科学大臣賞<sup>\*1</sup>、高校生の部の優勝者には文部科学大臣賞<sup>\*1</sup>が授与される予定です。

東北大会は6年ぶりに秋田県で開催予定です。「高校生の部」では今大会最多の44台がエントリーしています。昨年の東北大会「高校生の部」では、自立型で山形電波学園山形電波工業高等学校、ラジコン型では宮城県黒川高等学校が優勝し、岩手県立水沢高等学校や羽黒学園羽黒高等学校、福島県立清陵情報高等学校も全国大会に出場しました。開催校である秋田県立横手清陵学院高等学校は2014年まで10年連続で全国大会に出場した強豪校です。参加校は実力が拮抗しており、白熱した戦いが期待されます。

文部科学省は、2020年の実施を目指した、小学校でのプログラミング教育必修化の検討を開始しました。相撲ロボット作りは、複数のセンサーなどを駆使した高度なプログラミング技術が使われています。参加者は、相撲ロボット作りを通じて、自分のアイデアや技術を形にしています。

### 【東北大会の開催概要】

- **開催日** 2016年10月23日(日)  
11:00 開会式／11:30 試合開始／15:30 表彰式
  - ・小さなお子さんから大人まで気軽に楽しめる  
レゴ相撲、ミニ相撲の対戦のデモンストレーションを行います。
  - ・入場無料。どなたでもご観戦いただけます。
  - ・当日の参加台数や試合状況により、表彰式の時間が早まる場合があります。
  - ・詳しくは <http://www.fsi.co.jp/sumo/>をご参照ください。

- **開催場所** 秋田県立横手清陵学院高等学校 体育館  
(秋田県横手市大沢前田 147-1)

- **出場台数** 約100台

- **全国大会出場枠(予定)**  
高校生の部: 自立型5台、ラジコン型5台  
全日本の部: 自立型2台、ラジコン型2台

- **主催**  
富士ソフト株式会社、公益社団法人全国工業高等学校長協会



昨年度東北大会の様様



FUJISOFT

■ 後援<sup>※2</sup>

文部科学省、秋田県教育委員会、一般社団法人日本ロボット工業会、一般社団法人日本ロボット学会、一般社団法人日本機械学会、一般社団法人電気学会

■ 大会委員

委員長	富士ソフト株式会社	代表取締役 会長執行役員	野澤 宏
副委員長	富士ソフト株式会社	ロボット相撲大会事務局長	金井 健
委員	早稲田大学	環境・エネルギー研究科 教授	永田 勝也
〃	株式会社いすゞ中央研究所	顧問	西村 輝一
〃	株式会社移動ロボット研究所	代表取締役	小柳 栄次
〃	一般社団法人実践教育訓練研究協会	監事	平塚 剛一
〃	富士ソフト企画株式会社	代表取締役社長	須藤 勝
〃	公益社団法人全国工業高等学校長協会	事務局長	山田 勝彦
〃	公益社団法人全国工業高等学校長協会	事務局次長	石井 末勝
〃	富士ソフト株式会社	執行役員	前川 政喜

【全日本ロボット相撲大会の概要】

■ 目的 生徒・学生ならびに社会人がロボット作りを通して技術の基礎・基本を習得し、研究意欲の向上と創造性発揮の場を提供し『ものづくり』の楽しさを知ることが目的とする。

■ 試合規則について

直径 154cmの鉄製の土俵上で“ロボット力士”が勝負に挑む。土俵から落ちたら負けの三本勝負。

部門 「高校生の部」は公益社団法人全国工業高等学校長協会加盟校の高校生

「全日本の部」は参加資格制限なし

種類 自動的に動くコンピュータプログラムを内蔵した「自立型」と、ラジコン操縦で動かす「ラジコン型」の2種類

規格 幅・奥行き 20cm以内／高さ自由／重さ 3kg以内

■ 地区大会出場台数

約 1,300 台

■ 全国大会について

全国 9 カ所で開催する地区大会の上位入賞者が全国大会へ進出し、トーナメント方式で“横綱”の座を狙います。

・全国大会出場枠

高校生の部：自立型・ラジコン型 各 32 台、合計 64 台

全日本の部：自立型・ラジコン型 各 32 台、合計 64 台

・全国大会開催概要

第 24 回高校生ロボット相撲全国大会 11 月 27 日(日) ものつくり大学(埼玉県行田市)

優勝者には文部科学大臣賞<sup>※1</sup>、技術的に優れたロボットには経済産業大臣賞<sup>※3</sup>が授与されます。

第 28 回全日本ロボット相撲全国大会 12 月 18 日(日) 国技館(東京都墨田区)

優勝者には文部科学大臣杯<sup>※1</sup>・文部科学大臣賞<sup>※1</sup>・優勝賞金 100 万円、準優勝 50 万円、第 3 位 30 万円が授与されます。

※1 文部科学省の後援は現在申請中です。

※2 後援は現在申請中です。

※3 経済産業省の後援は現在申請中です。

以上

この件に関するお問い合わせ

コーポレートコミュニケーション部 担当/久下・西元

〒101-0022 東京都千代田区神田練堀町 3

TEL: 03-5209-5910 FAX: 03-5209-6085 E-MAIL: mkoho@fsi.co.jp